



第26回

防災まちづくり大賞で総務大臣賞受賞

『草津市における外国人留学生等による機能別消防団員の取組み ～支えられる側から支える側へ～』という内容で応募していました、総務省消防庁主催の第26回防災まちづくり大賞で、最高賞の総務大臣賞を受賞しました。滋賀県知事、草津市長に受賞報告させていただきました。



この度 KIFA が『草津市における外国人留学生等による機能別消防団員の取組み～支えられる側から支える側へ～』で消防庁主催、防災まちづくり大賞の総務大臣賞を受賞することができて感無量です。2015年の発足からずっと関わってきて外国人団員のもどかしい思い、草津市の課題も共有しながら彼らの活動を見守ってきました。

今回白井県会議員から応募をと声をかけていただいたことからこのような素晴らしい賞をいただくことができ、きっと今後の彼らの励みになると思います。卒業していった団員たちも喜んでいることでしょう。消防署や危機管理課との連携のおかげです。今後はもっとそれぞれ役割分担しながら KIFA の立場の視点でこの日本初の外国人消防団員を見守っていききたいものです。

KIFA 副会長 中西 まり子

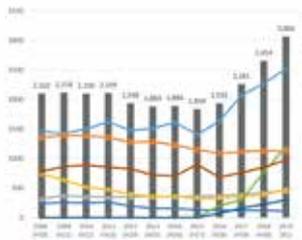




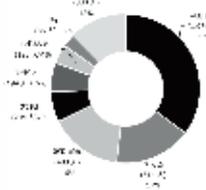
防炎まちづくり大賞受賞につながる、

2015年より活動を初めている機能別消防団員の、設立

草津市の在留外国人の推移



▼草津市の国籍別状況



草津市は外国人比率2%以上、多様な国籍

外国人機能別消防団員の募集にあたって

KIFA日本語クラス(日本語ひろば「きずな」)



KIFAの日本語ひろばの生徒の中から、日本語の会話ができて、消防団に興味がある人達に説明会を開催

機能別消防団員構成

- 【設立】2015年9月1日
- 【当初】留学生6名、会社員2名、主婦1名からスタート
- 【団員数】10名
- 【国籍】中国4名、ベトナム4名、フィリピン1名、韓国1名(2021年9月現在)
- 【職業】留学生2名、教員1名、会社員5名、主婦2名
- 【年齢】20代~40代
- 【性別】男性5人 女性5人
- 【言語】母国語、英語と日本語での日常会話が可能



機能別消防団員誕生への道のり



- 総務省消防庁(地域防災の強化)
- キーパーソンの存在
- 留学生比率高い
- 語学力高い人材の宝庫
- 消防団員の不足
- 意識の高い担当職
- 市の消防団本部付け

機能別消防団員の研修

- 心臓マッサージ、AED取扱い等の普通救命講習
- 礼式訓練 ●座学(消防団についての基礎知識)
- 出初式 ●基礎訓練(消火器を使った初期消火訓練)
- 地域の消防団員との意見交換会



※ほぼ全ての活動に KIFA からコーディネーターとして参加
※ KIFA がマネージメント協力している

定期訓練のようす



機能別消防団員誕生と地域での活躍

KIFAと危機管理課との連携事例

- 地元の祭りに参加して啓発活動
- 防災訓練デモンストレーション
- 立命館大学で留学生とAED体験
- 長浜市民国際協会で講演
- 2016/1 防災図上訓練
- スピーチ大会参加
- 出初式に参加
- 2017/7 多文化防災訓練
- 2017/9 シェイクアウト訓練
- 2018 渋川学区多言語避難訓練
- 2018 老上小学校合同防災訓練
- 2019 日本語教室での防災学習



啓発活動等の様子



- ▲滋賀県消防大会に参加
- ▲新留学生歓迎パーティーで救急救命パフォーマンス(立命館大学BKCキャンパス)
- ▲子どもたちへの防火広報

機能別消防団員活動実績



- ▲玉川学区防災訓練に参加
- ▲留学生七夕パーティーで消火器取扱い指導
- ▲シェイクアウト(De愛ひろば)

草津市機能別消防団員の活動について



経緯、活動の内容、今後の課題についてまとめました。

地元の萩まつりとロクハ荘での活動



2019 KIFA 日本語教室での防災学習 (機能別消防団員から英語での案内あり)

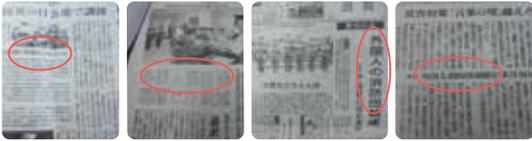


2018年以降の機能別消防団員 活動(地域の自治会の訓練に参加)



任命後の反響

- 国際交流イベントからの出演依頼
- 大学のプロモーションビデオにも
- テレビ、ラジオ、新聞から取材依頼



2015年発足時の新聞記事



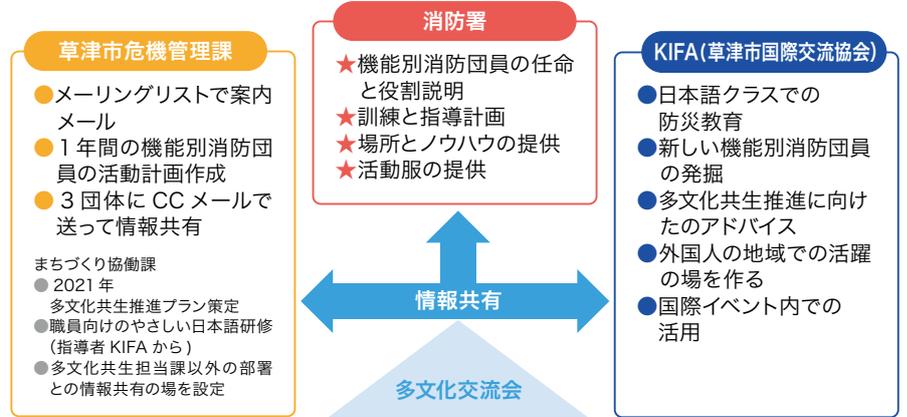
機能別消防団員へ インタビュー記事



2016～2018の新聞記事



今後の機能別消防団員の活動における連携に向けて(国際交流協会として)



防災分野の取組をはじめ、地域で外国人人材を活かすためのポイント

- ポイント**
- 外国人人材の拠点をつくる(日本語クラスや日本語サロンなど)
 - 外国人人材と支援者の信頼関係を構築する(イベント時だけでなく日常においても)
 - キーパーソンとなる外国人人材を発掘する

KIFA が雑誌取材された内容



これ以外にも KIFA に国際人材機構や国際交流財団からの取材や講演依頼が多数ありました。

ポイント実現のための具体的な実施内容

- 地域の自治会や地域の方とのつながり、地域のイベントに参加を呼びかける(祭り神輿担ぎ、屋台出店、老人会などに多文化紹介)
- 日頃から顔の見える関係づくり
- 小中学校への出前講座(国際理解教育)
- 地元の大学と連携(授業および国際センターや地域連携課)
- 市民団体との連携、
- 広報、メディアの利用
- 課題と解決策を行政と共有



2022 年度草津市国際交流協会総会

4月9日(土)に草津市役所8階大会議室で、2022年度の草津市国際交流協会総会が開催されました。



総会には正会員 69 名中 23 名が出席され、30 名の委任状と合わせて 53 名の出席となり、総会が成立していることが報告されました。

開会の挨拶で草津市国際交流協会の南会長は、「草津市国際交流協会として 2015 年より草津市に協力して活動を続けていた、「機能別消防団員の活動」が、第 26 回防災まちづくり大賞において、総務大臣賞を受賞しました。

又、3月に草津アマカホールで開催された「BNN: 第 18 回外国人による日本語スピーチ大会」においては、KIFA の代表として出場された趙雪さんが、最優秀賞の滋賀県知事賞を受賞されました。このように昨年度は草津市国際交流協会として地道な活動が評価され名誉なことがありました。それ以外の活動としましては、一昨年からのコロナの影響で、国際交流・国内交流部会では姉妹都市・友好都市との交流が実施できませんでした。国際理解部会は、インタラクティブ・イングリッシュ、JICA 帰国隊員報告会、出前講座を対面式で実施出来ました。多文化共生部会は、通常の日本語ひろばは、全てオンラインでの開催になりましたが、ボランティア、生徒さんが積極的に活動してくれ、通年を通じた活動が継続できました。又、やさしい日本語サロンも、UDCBK さんの協力を得て、対面式とオンラインを効果的に組合し、これも通年の活動となりました。広報部会は、活動の制限に伴い、KIFA スクウェアの発刊も 2 回になってしまいました。

KIFA として、草津市が進める多文化共生推進プランに則り、昨年度実施された「やさしい日本語ガイドライン」の策定業務に協力し、市役所職員の研修会にも協力してまいりました。今年度は国際交流、国際理解、多文化共生の各活動に、積極的に取り組んでいき外国人との多文化共生を進めてくることが、KIFA の重要な使命であり、皆さんの協力をお願いします」と話されました。

その後、来賓としてお越しいただいた草津市の辻川副市長より草津市の国際化に対する取組への感謝が述べられ、今後増加するであろう外国人との協働による地域共生社会の実現に向けての、草津市国際交流協会の積極的な取組が期待されていることが話されました。

議事自体は第 1 号議案「2021 年度事業報告について」、第 2 号議案「2021 年度会計決算」、第 3 号議案「役員人事」、第 4 号議案「2022 年度事業計画について」、および第 5 号議案「2022 年度会計予算」が審議され、全議案とも無事に総会の承認を受けました。

今年度の総会で藤田アニコー理事の退任と、卓慧宜理事の就任が認められました。卓理事は国際理解部会を担当されます。

KIFA 事務局長 浦 幹夫



第18回 BNN 「外国人による日本語スピーチ大会」

3月6日(日) 草津アマカホールで、第18回 BNN「外国人による日本語スピーチ大会」が開催され、10名の参加者の中より、KIFAより参加された趙雪さんが「人生の四則演算」のスピーチで、最優秀賞の滋賀県知事賞を受賞されました。

他の KIFA 関連の出場者はシュエさん(ミャンマー)、アスマさん(マレーシア)、ラヤーンさん(スーダン)でした。みなさんすばらしかったです。

今回のスピーチ大会を通して、社会人になってから一年間で考えたことをみんなに伝えられ、とても嬉しかったです。正直、人前で話すのが得意ではありません。また、発表順が一番最後なので、他の発表者が堂々とスピーチをしていて、一人一人の発表が終わるにつれ、どんどん不安になっていきました。しかし、観客たちの期待のまなざしを見ると、胸に勇気が湧いてきて舞台上に立って自分の思いを話すという気持ちが強くなりました。発表が終わった際に、みんなが拍手しているのを見て、自分が認められたと感じ、とても満足しました。

このようなスピーチ大会に参加できたこと、そして最優秀賞を頂けたことを誇りに思います。今後機会があれば、引き続き参加してみたいです。

最後に、中西先生をはじめとする先生たち、応援してくれた友達、すべての方に感謝の気持ちを伝えたいです。本当にありがとうございました。

元 KIFA 日本語ひろば「きずな」生徒 会社員
趙雪 (中国出身)





草津市「やさしい日本語ガイドライン」策定業務と 草津市職員向け「やさしい日本語研修会」

草津市の進める「やさしい日本語ガイドライン」の策定に草津市国際交流協会は協力しました。
又、2月2日は草津市職員約60名に向けての研修会にも協力しました。

草津市職員向けのやさしい日本語ガイドラインが出来上がり、コロナ禍で延期を繰り返していた職員向け研修会も、2月2日に何とか開催することができ、日頃窓口業務を担当している職員の方たちを中心に受講いただきました。

研修会は以下の3部構成で、午前と午後の2回行いました。

- 1 多文化共生入門(草津市多文化共生推進プラン)
- 2 やさしい日本語って何?
- 3 使ってみよう、やさしい日本語

1は、2021年4月に策定された「草津市多文化共生推進プラン」を取り上げながら、多文化共生を進める意義や必要性についてお話をさせていただきました。

2では、やさしい日本語の作り方のポイントを説明させていただき、日本人には当たり前の表現、よくある表現が、実はわかりにくかったりするポイントを紹介していきました。

3では、実践として、やさしい日本語への言い換えの練習をしました。コロナ禍でなければ、小グループでのワークショップ形式で参加者の皆さんに考えていただく時間を持ちたかったのですが、残念ながらそれは叶わず、各自で考えてもらう形となりました。

研修会の講師を務めたガイドライン作成メンバーは、外国人にやさしい日本語を教えることについてはスペシャリストではありますが、大きな研修会の講師としてお話をさせていただくには経験も浅く、内心ドキドキものでしたが、そこは個人の努力と全員のチームワークで無事に研修会を終えることが出来ました。

外国人が入国してまず立ち寄る市役所…窓口の職員さんが当たり前「やさしい日本語」で対応してくれる市役所になれば、それは外国人のみならず、誰にとってもやさしく思いやりのある、まさしく「多文化共生のまち」の実現につながります。

県内在住の外国人のうち、留学生比率が他市に比べて非常に高い草津市だからこそ、今後も多文化共生推進の重要性を伝えるとともに「やさしい日本語」の普及に努めることで、協会としてのミッションも果たしていければと思います。

なお、KIFAでは「やさしい日本語」を活用して、日本語を日本語で教える日本語教室(日本語ひろば「きずな」、やさしい日本語サロン)も運営していますので、ご興味のある方は事務局までお声掛けくださいね!

KIFA 多文化共生部会部会長 鶴田 真理子

私が普段通っているやさしい日本語サロンでは、やさしい日本語で会話をしながら外国人と日本人が交流したり、日常生活の悩みを聞いたりしています。そこでは、市役所での手続きについて外国人に相談されることが多く、特に税金関係や子どもの教育・保育に関する手続きについてよく聞かれます。生まれた時からずっと日本語で生活している人にとっても、行政で使われる言葉は時々難しく感じます。難しい日本語を読み、内容を正しく理解し、必要な手続きを踏むということは、文化背景も違う外国人にとって非常に困難な作業です。

サロンで受けてきた彼らの相談内容を思い出しながら、職員さんに外国人住民の声を反映させるつもりで事前検討会に参加しました。

事前検討会では、よく使われる行政の言葉をやさしい日本語に変換したり、他の自治体のガイドライン等を参考にしながらメンバー全員でやさしい日本語のルール等を整理していきました。策定にあたって様々な困難がありましたが、実際にそのガイドラインを使われる職員さんにとって分かりやすいガイドラインの内容に仕上げることが個人的に一番難しかったです。

今後このガイドラインが職員さんのお役に立てると嬉しいです。そしてやさしい日本語がもっと普及し、外国人、日本人関係なく、すべての人が暮らしやすいマチになって欲しいと思います。

KIFA 会員 安居 真菜美





いろんな国で活躍する日本人 ガーナ編

2月22日(火) キラリエ草津で、国際理解部会恒例の JICA 帰国隊員報告会「いろんな国で活躍する日本人：ガーナ編」が、2月のガーナより帰国されたばかりの小池木之実さんを講師にお迎えして開催されました。



2年間ガーナで子供たちの教育に携わった小池さんの話は、ガーナと日本の教育の違いの話に始まり、小池さん自身が体験された驚きの日常生活まで幅広く、興味のあることがない話ばかりでした。話の途中で、ガーナ特産の「ガーナ産フェアトレードチョコレートが参加者に配られ、皆が楽しみました。話が幅広い分野に及んだので、質問時間になると沢山の方より色々な質問が飛び出す、盛会の報告会になりました。

KIFA 事務局長 浦 幹夫



国際理解イベント

～アメリカの文化を知ろう～ 留学生とイースター体験しよう！

3月29日(火) フェリエにて12名の子供達を集めたイースターイベントが開催されました。エッグハントやクラフト、ゲームを楽しみました。



When I was invited to KIFA's Easter event last 29th of March, I felt excitement and curiosity about how the Japanese people would celebrate Easter. At that event, we did some Easter chants, helped making crafts, enjoyed storytelling, and played Easter egg hunt together with the young energetic kids. I also had the chance to practice speaking Japanese with the organizers. It was a productive day, indeed. Somehow, I missed home, but because I have somebody (my KIFA family) to celebrate Easter, I felt very happy. Should there be another event like this, I would definitely join again.



立命館大学大学院経済学研究科
ファベラ メリサ マンザノ(フィリピン出身)

日本語ひろば「きずな」の

お花見イベント

草津市国際交流協会恒例の春の花見です



This was the first time for me and my wife to see the cherry blossoms. The fine weather and the gorgeous sakura well matched each other to make that day excellent. A lot of people came to the park and enjoyed on their own way.

It was so fun playing games with Kizuna members. We were getting to know each other and friendly and I felt I would have been brought back to my childhood.

The wonderful thing for us was that my wife had the chance of wearing Japanese Kimono lent by Mariko sensei and taking a lot of her pictures and videos together with sakura. We were also very pleased to meet with our KIFA Japanese language senseis in person and talked with them. In our memory, it is always one of the most unforgettable days we have ever had during our stay in Japan. Thank you very much!

立命館大学経済学研究科 M2 Thway Thaut Htet Khaung (ミャンマー出身)



案内 KIFA 日本語スピーチ大会

日本語を学ばれている外国人の方が増えています。その方たちの日本語能力向上のために、皆の前で日本語を話す機会としての日本語スピーチ大会を開催します。

初級者も含め、色々なレベルの人に参加してもらいます。

この事業は、草津ライオンズクラブ、草津ロータリークラブの協賛と、草津市の後援を受けて開催します。

是非、沢山の方に聴きにきていただきたいと思います。



- 日 時：2022年9月11日(日) 13:30～16:00
- 場 所：草津市立市民交流プラザ(フェリエ) 5階大会議室
- 参加費：無料
- お問合せ・申し込み：KIFA事務局 窓口・電話・メールにて



募集 デイビッド先生のインラクティブ・イングリッシュ 2022

(後期：全10回)

イギリス出身のデイビッド先生の英会話クラスを開催します。コースはベーシックとチャレンジの2種類。質問がしやすいリラックスした雰囲気の教室です。参加をご希望の方は、KIFA事務局までご連絡ください。

※諸事情により、会場等に変更の可能性があります。

- 日 時：2022年9月12日から11月28日の期間中、
毎週月曜日開催(9月19日・10月10日(月・祝)を除く)
【ベーシック】9:15～10:15(60分)
【チャレンジ】10:20～11:35(75分)
- 定 員：各コース10名(先着順)
- 場 所：市民総合交流センター「キラリエ」(草津市大路2丁目1-35)
- 参加費(10回分)：【ベーシック】KIFA会員6,500円、一般9,500円
【チャレンジ】KIFA会員9,000円、一般12,000円
- 申し込み開始：2022年8月4日(木)から ※会員の方は7月25日(月)から
- お問合せ・申し込み：KIFA事務局 窓口・電話・メールにて



KIFA事務局新職員の笹尾 陽子です。

はじめまして。KIFA事務局には、今年の4月から勤務しております。初めてのことばかりでご迷惑をおかけするかもしれませんが、日々努めて参りますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。

今後も地域の皆様イベントなどに楽しんでご参加いただけますように、微力ながらお役に立ちたいと思っております。